

七尾の自然が 語るもの。

古くから私たちは、

海や川、山と豊かな自然環境に恵まれ、

その恩恵を受けて、共にくらししてきた。

しかし、私たちにとって快適で便利な生活を

求めた結果、**環境破壊**という大きな負荷を与えた。

自然は人のように言葉で伝えることはできないが、

姿や形など、**さまざまな表情や態度で、**

私たちに大切なことを
語りかけている。



【川の住人が教えてくれる】

七尾市内には、市街地の中心部を流れる御祓川、緑の里山を流れる熊木川や熊淵川、七尾城跡を頂いた、城山を源とする大谷川など、大小さまざまな川が存在している。

古くは貴重な水源として、あるときは地域の祭事に彩りを添えるなど、地域、そして人々の生活や歴史と深く関わっている。そんな川で、くらしている水生生物と呼ばれる住人たちが、何気なく、あることを私たちに教えてくれる。

「きれいなところでなければくらしせないもの。」

「多少よごれていてもくらしせるもの。」

「ものすごくよごれていてもくらしせるもの。」

住人たちのくらしを知ることだ、

川の健康状態（よごれぐあい）を知ることができる。



過去3年間の主な調査結果

	H17	H18	H19	
熊淵川	上流域	○	○	○
	下流域	○	○	○
崎山川	上流域	○	○	未調査
	下流域	△	△	未調査
御祓川	上流域	○	○	○
	下流域	×	×	×
大谷川	上流域	○	○	○
	下流域	×	×	×
吉田川	上流域	未調査	○	○
	下流域	未調査	○	○
熊木川	上流域	○	未調査	○
	下流域	×	未調査	○

○よごれていない
△すこしよごれている
×よごれている



総務部環境安全課
環境政策グループ
松柳 浩紀
Hiroki Matsuyanagi

「調査から見えること」

七尾市では昭和61年から、夏休みを中心に市内の小中学生と、水生生物の生息調査を実施しています。これは、子どもたちに川や水生生物とふれあう体験を通して川のよごれを知り、そして環境保全の大切さを学んでもらうことを目的としています。川のよごれ方は、多くの人が生活している地域とそうでない地域とは異なります。

近年、下水道の普及により、よごれの原因の一つである、生活排水が流れ込むことは確実に減っています。しかし、調査結果では、大きな改善は見られていません。川をよごすことは簡単でも、再生するには時間がかかるというまぎれもない事実です。

あと、川のあちこちで生活ゴミを見かけますが、これも川をよごす原因です。私たち一人ひとりがほんの少し意識すれば川をよごすことはありません。

